

活躍人訪問



「地域に密着した活動で高木地区を盛り上げたいです」と話す菅野会長

■会の活動
高木若連会は、昭和48年に結成され、今年で40年目を迎え、3方部では最も古くから活動を行ってきました。去る7月28日には結成40周年記念祝賀会を盛大に行ったところですが、現在、高木若連会には20歳から40歳までの60名が加入しています。地元での活動を主体に、春は地区のレクリエーション大会でかき氷店を出店したり、夏は公民館のグラウンドに直径約4メートルのいけすをつくり、その中に放されたマスやウナギを子どもたちがつかみ取りする魚つかみ大会や高木盆踊りでは

高木若連会
会長 菅野 仁さん

■私の趣味
やはり、今は、若連会をまとめてしっかり祭りをつとめあげることが第一です。また、同窓会の実行委員にもなっています。お正月が明けるまでは、忙しい日が続きます。それが終わったら、スノーボードでもゆっくり楽しみたいですね。

■会長としての思い
放射能事故の影響でレクリエーション大会や高木盆踊りが中止になったり、毎年行っていた魚つかみ大会や子ども囃子教室に変更するなど、行事の中止や変更が余儀なくされています。しかし、高木若連会が率先して、子どもたちをはじめ地域のひととともに高木地区を盛り上げ、活気あるものとしていく、地域の牽引力として活躍していくことが我々に与えられた役割だと思っています。

やぐらを組んで太鼓を叩いたり、秋は秋季例大祭で東部太鼓台を運行するなど、年間を通して様々な活動を行っています。

本宮市の皆さんを紹介するページ みんなのひろば

◎今月の人
遠藤 隆さん
ENDO TAKASHI
(本宮字欠下)

遠藤さんは、「消防団活動をしながらも、プライベートでは自身の野球とともに、息子の野球と娘のフラダンスや合唱の応援に行くのが楽しみなんです」と話してくれました。



私の随想録
「一生懸命」
私は、幼少の頃から中学、高校そして現在まで野球を続けてきました。朝早く父に起こされ、本宮高校グラウンド（現在のみずい公園）で、小学生のお兄ちゃんたちに混ざって始めたのがきっかけでした。ただ面白いというだけ

で続けてきた野球でしたが、中学時代からは、試合に勝つために真剣に毎日の練習に取り組みました。この頃から、野球を通してひとつの事に一生懸命取り組むことの、すばらしさを学んできたような気がします。好きなことにはつい力が入ってしまい、気がつけば車いじりや当時の遊びにも夢中になっていました。平成5年に消防団に入団すると、ポンプ操法の訓練を中心に、真剣に取り組み、すばらしさを共有できる仲間がたくさん増えました。その経験は、私を成長させてくれた貴重な財産となっており、今でも当時の仲間とその頃の話で盛り上がりです。また、息子が中学の野球部に所属しており、その応援や指導に夢中になりながらも楽しんでます。40歳を過ぎ、昨年から地元の壮年野球チーム（本宮レジェンズ）にお世話になり、けがをしないように気をつけながら若い頃とは、また一味違った野球をやっています。

最後に、この生まれ育った本宮で、家族、仲間、そして人と人とのつながり、出合いを大事にしながら、仕事や野球など、たくさんの方に支えられ、楽しんでいきたいと思っております。もちろん「一生懸命」に！！

来月は、岡部美保さん（糠沢字久保内）の予定です。

FM Mot.Com 秘情報

あ的心声、私です...

《パーソナリティ紹介》
◆ラジオネーム：ネグセ頭
◆本名：徳永 耕太（とくながこうた）
◆出身：南会津町田島

◆趣味：よきこい・ラーメン屋巡り
◆担当番組：今夜も んだNIGHT！
(毎週水曜日 午後5時00分～)
ゴーストマスター
(毎週土曜日 午後8時30分～)

◆リスナーに一言：
地域の大切な情報や身近な話題、時には笑えるネタなど自分らしくお伝えしていきます！

ることが大きな喜びです。
0歳から6歳までの乳幼児が同じ施設の中で生活することにより、年長児の姿にあらがれの気持ちをもったり、年少児の姿にいたわりの気持ちをもったりすることができるとおもいます。



▲広い園庭で元気に走り回る子どもたち

こどものひろば
五百川幼保総合施設

施設長 佐原しげ子
【児童数】 幼稚園部120人
保育所部 71人
(平成24年9月1日現在)



▲今年4月に誕生した五百川幼保総合施設（おひさま幼稚園）

五百川幼保総合施設（通称おひさま幼稚園）は、五百川幼稚園の耐震強化のための建て替えと、増加している低年齢の保育需要に対応するため第4保育所と統合して建てられた施設です。4月3日に入所式、9日に入園式が行われ新しい施設での保育がスタートしました。

おひさま幼稚園は0歳から就学前までの191人のお子さんを預かりしています。その他に地域子育て支援センター、一時預かり保育、幼稚園預かり保育、特別支援保育などの役割も兼ね備えた総合施設です。

幼稚園部（4歳児・5歳児）の子どもたちが、遊びを通して発達に必要な経験ができるよう、様々な活動に一人ひとりが主体的に取り組めるように、また、友だちとのかわりの中で学び合うことができるよう支援しています。また、保育部（0歳児から3歳児）の子どもたちが、家庭的な雰囲気の中で安心して過ごし、一人ひとりが自分なりの動きを楽しみながら自己発揮していけるよう支援しています。

新しい施設のため、放射線心配もなく、1歳児から年長児まで砂遊びをしたり、園庭を元気に駆け回ったりして戸外遊びをのびのびと楽しめ